

2015 前期 LS(地)

受験番号

2015 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 商法

(60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 商法

【問題】

以下の事例を読んで、設問に答えよ。

〔事例〕

P 株式会社(以下「P 社」)は、譲渡制限株式発行会社である。P 社の創業者経営者で一人株主である A は、2014 年 7 月 1 日に代表取締役を辞任して間もなく死亡した。相続人は A の妻 B と 2 人の子 C、D である。P 社の取締役は、これら相続人(B、C、D)で占められ、A のあとを受けて代表取締役に就任したのは C である。亡 A の遺産分割協議においては、P 社株式の扱いを巡って、C と D との間で争いが続いている。P 社においては 2014 年 7 月 31 日には、すべての取締役の任期が終了することとなっている。B～D(以下、「B ら」)は、次期も各自が取締役に就任することも含めて、P 社の運営について意見の対立はない。

〔設問〕

B らが 2014 年 8 月 1 日以後も、引き続き取締役としての職責を全うできるようにするには、会社法上いかなる措置を採ればよいだろうか。